

Utility Model Abstract of Japan

Registration No.: 3021345

Date of Publication: 20.02.1996.

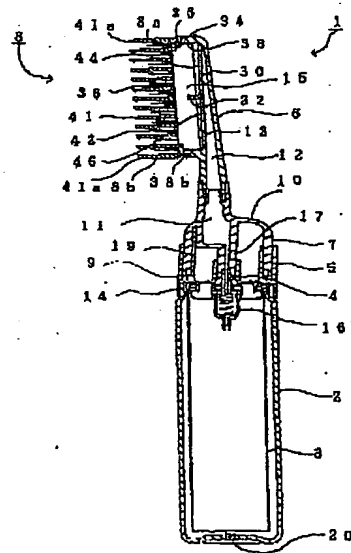
Application No.: 07-1263

Date of Filing: 05.02.1995.

Effect: This utility model provides a container for applying viscous hair cosmetic of liquid type or gel type to hairs easily and uniformly. Also, it is possible to prevent the cosmetic scattering around the container.

Solution: A container includes an aerosol container 2, an inner bag 3 therein, and an applicator 8 provided above the aerosol container. The aerosol container accommodates hair cosmetic. Discharge agent is filled between the aerosol container and inner bag.

How to use: User grasp the aerosol container by one hand and push a depression portion 10 by a forefinger. By pushing the depression portion, a shoulder cover 7 moves downward, and a nozzle 4 is also pushed down. Hair cosmetic in the inner bag is pressed out due to the pressure of discharge agent.



(18) 日本国特許庁 (J P)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

第3021345号

(45) 発行日 平成8年(1996)2月20日

(24) 登録日 平成7年(1995)11月29日

(51) Int.Cl. ⁸	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
B 6 5 D 83/14				
83/36				
A 4 5 D 19/02	B			
			B 6 5 D 83/14	
			83/00	J
			審査の請求 有	請求項の数 5 F D (全 11 頁)
				続き有

(21) 出願番号 実願平7-1263

(22) 出願日 平成7年(1995)2月6日

(73) 実用新案権者 000113274

ホーユー株式会社

愛知県名古屋市中区徳川1丁目501番地

(72) 考案者 加藤 和夫

愛知県愛知郡長久手町大字長瀬字植木1番

地の12 ホーユー株式会社研究所内

(72) 考案者 伊藤 剛正

愛知県愛知郡長久手町大字長瀬字植木1番

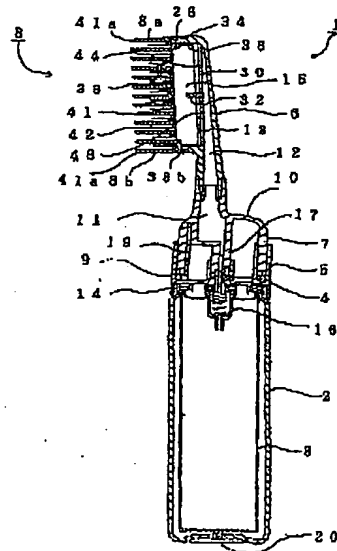
地の12 ホーユー株式会社研究所内

(54) 【考案の名称】 塗布用容器

(57) 【要約】

【構成】 エアゾール容器の内部に内袋を有し、該エアゾール容器の上部に塗布部を有する塗布用容器において、内袋に頭髪化粧料を収容し、エアゾール容器と内袋の間に噴射剤を充填したことを特徴とする塗布用容器。

【効果】 液状、ジェル状あるいは粘稠な頭髪化粧料を、容易に均一に毛髪に塗布することができ、しかも周囲に飛び散って汚染する恐れもない塗布用容器を提供することができる。



1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 エアゾール容器の内部に内袋を有し、該エアゾール容器の上部に塗布部を有する塗布用容器において、内袋に頭髪化粧料を収容し、エアゾール容器と内袋の間に噴射剤を充填したことを特徴とする塗布用容器。

【請求項2】 頭髪化粧料が液状、ジェル状あるいは粘稠な染毛料であることを特徴とする請求項1記載の塗布用容器。

【請求項3】 噴射剤が窒素ガスであることを特徴とする請求項1～2記載の塗布用容器。

【請求項4】 塗布部の長手方向に沿って設けた吐出用長孔を跨いで列設された複数の主歯歯と、前記主歯歯の配列の少なくとも片側に列設された複数の副歯歯を備え、該副歯歯は、主歯歯よりも密に列設され、かつ副歯歯の高さは主歯歯よりも低く設定されることを特徴とする請求項1～3記載の塗布用容器。

【請求項5】 エアゾール容器から塗布部の長手方向に沿って設けた吐出用長孔の間に均等部を設け、吐出用長孔の容器側に向かう基端側通路の抵抗を、前記吐出用長孔の先端側に向かう先端側通路の抵抗よりも大きく設定したことを特徴とする請求項1～4記載の塗布用容器。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案の一実施例を示す断面図。

【図2】 支持体の説明図であり、図2(a)は正面図、図2(b)は右側面図、図2(c)は図2(a)の*

2

* A-A断面図である。

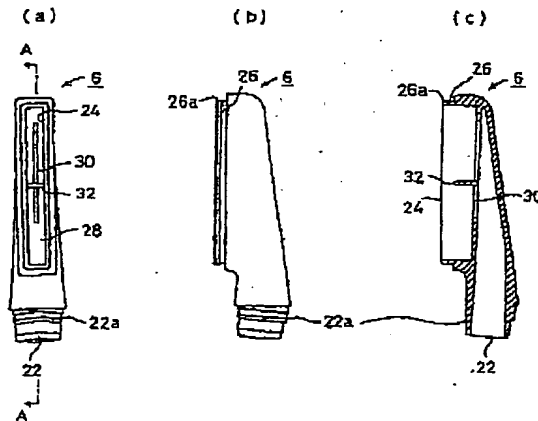
【図3】 塗布部の説明図であり、図3(a)は正面図、図3(b)は図3(a)のB-B断面図、図3(c)は背面図である。

【図4】 塗布部の説明図であり、図4(a)は左側面図、図4(b)は図3(a)のC-C断面図である。

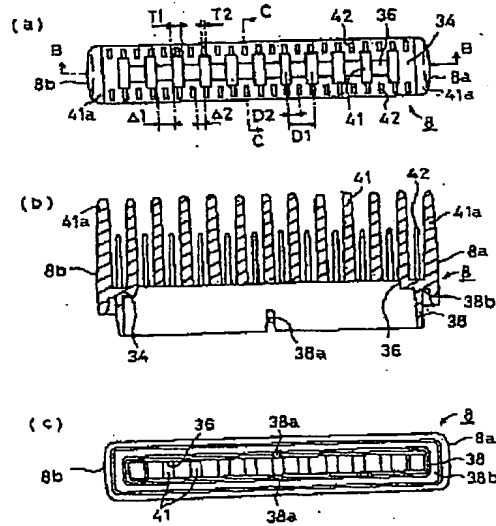
【符号の説明】

- 1 塗布用容器
- 2 エアゾール容器
- 5 連結部
- 6 支持体
- 7 肩カバー
- 8 塗布部
- 9 連結部空洞
- 10 押下部
- 11 肩カバー空洞
- 12 支持体空洞
- 13 均等部
- 15 歯部空洞
- 30 スリット
- 32 仕切り板
- 36 吐出用長孔
- 41 主歯歯
- 42 副歯歯
- 44 先端側通路
- 46 基端側通路

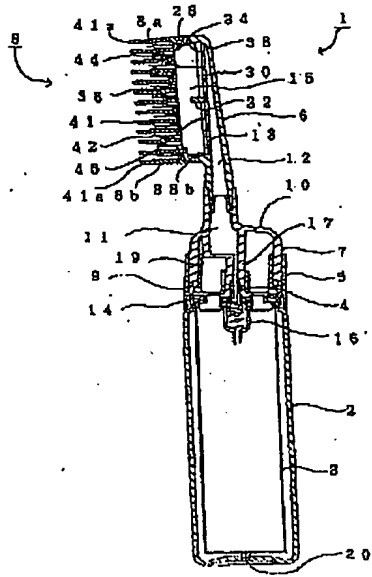
【図2】



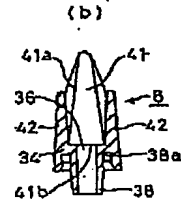
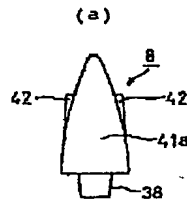
【図3】



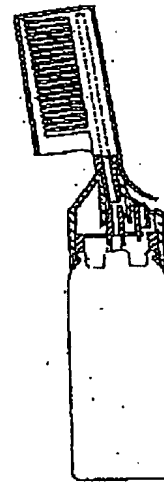
【图1】



【图4】



【图5】



【图6】

